



幹部職員と初期臨床研修医 [令和2年4月]

CONTENTS

令和2年 夏号

Vol.64

“深谷赤十字病院の近況”

伊藤 博 院長…………… P.1

●就任のご挨拶…………… P.3

●新任医師紹介…………… P.4

●初期臨床研修医紹介…………… P.5

●第121回日赤東部ブロック…………… P.6
院長・事務部長会議報告

●地域医療連携だより…………… P.7

●INFORMATION

深谷赤十字病院の近況

院長 伊藤 博

例年4月であれば、新入職員を迎えるかのように、日赤通り沿いの「はなみずき」の花が一斉に咲き、様々な部署で数多くの歓迎会が催されているはずでしたが、今年は全く様相が違います。

深谷赤十字病院でも2月に横浜のクルーズ船からの新型コロナウイルス感染者を受け入れて以来、感染症との長い戦いが続いています。最前線で肅々と業務に当たっている職員には改めて感謝するとともに、大変誇りに思います。今回の新型コロナウイルスのパンデミックは、世界中に蔓延し逃げ場のない、人類全体が克服せねばならない大災害です。

約100年前の1918年のインフルエンザ（いわゆるスペイン風邪）の流行時は、当時の医療レベルの低さもあり、世界中で5億人が感染し、1万7千人〜5万人が死亡し、特に子供の死者が多かった事もあり、アメリカではその年の平均寿命が12歳ほど低下したと言われています。当時は、第一次世界大戦中で人の往来、集団での行動が多かったと思われるます。

今回の新型コロナウイルスのパンデミックも、グローバルゼーション、インバウンド拡大などの状況で広がったもので、



この人の往来をなくす事で収束に向かわせようとしているのは、100年前の手法と基本的に同じです。私は江戸時代の火消しの延焼を防ぐための破壊消防を少し連想してしまいます。強力な消火手段を持たない状況では、これもやむを得ない方法であったのでしよう。この原稿を書いている7月初旬の時点では、緊急事態宣言などの効果もあり、一旦は収束に向かった状況がまた少しずつ拡大の方向にいくことを実感しています。云われている様に、第二波・三波に備える事が重要です。

一方で、この姿の見えない未知のウイルスは、実際に身体に感染する人よりも、ずっと多くの人の心に感染してしまいます。

人は不安や恐怖のストレスを感じると、冷静な行動が取れず、他者への非難、偏見、差別が生ずる事がよく知られています。

東日本大震災の原発事故に伴う放射能拡散の際にも、同じ様な事が起こりました。一部地域を除き、医療用検査よりもずっと低い被曝量であるにも関わらず、相当数の人が過

剩と思われる行動や、被災者への差別行動をとったことは記憶に新しいと思います。職員には、落ち着いた行動と、この様なストレス状況では、余計に当院の理念ともいうべき人に対する「優しさ」を持って欲しいと院長メッセージを送りました。

他方で新型コロナウイルスと戦っている私たちに対し、たくさんの人から「優しさ」が届けられています。多額のご援助・寄付のほか、マスクや食料品などの物的支援を地元の方、企業、団体、個人の皆様から頂いています。さらには幼稚園、保育園、学校から我々医療従事者への励ましの言葉も次々と届いています。こうした温かい支援から、深谷赤十字

病院がいかに地元の人々に大切にされているかを肌で感じています。改めて、救急医療、地域医療支援、がん診療連携、周産期医療、そして第二種感染症指定病院など、公的総合病院として当院の果たすべき責務を感じています。



新型コロナウイルス感染者用病床

新型コロナウイルスの収束は、おそらく終息ではなさそうなので、第二波・三波に備えると同時に、以前の様に大勢で集まって呑み交わすという様なイベントはできない可能性が高そうです。

これから長く続くであろうwithコロナの状況に、当院を含めた多くの医療施設が向き合っていくことになると思います。

しかし、不自由を強いられる環境でも、人間が人間らしく生きるためには、何かしらの楽しみ・遊びが必要です。「中世の秋」の著作で知られるオランダの歴史学者ヨハン・ホイジンガは、人間を「ホモ・ルーデンス（遊ぶ存在・ホモ・サピエンスは知恵の存在の意味）」と定義しました。一般的動物と異なる人間の最大の特徴は、摂食行動などの生存のための行動とは無関係な「遊び」の行動で、我々は赤ちゃんの頃から遊びという行動を通して人間らしさを身につけて来たと云えます。皆で遊べる日が一日も早く来ることを願っていますが、それまではストレスの中でも医師会会員、医療施設スタッフ関係者、そして地域住民の皆様、各自「遊び心」を保ちながら、日々の業務に励んで頂きたいと思っております。



正面入り口での健康観察

就任のご挨拶



副院長
石川 文彦

日本外科学会指導医、専門医
日本消化器外科学会指導医、専門医
日本消化器内視鏡学会指導医、専門医
日本大腸肛門病学会指導医、専門医、評議員
日本臨床外科学会評議員
日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会評議員
診療情報管理士

この度副院長を拝命致しました外科・石川です。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大と、緊急事態宣言解除後も感染拡大に対しては油断できない状況が続いております。コロナ対応にご尽力されている職員の方には心より感謝申し上げますと同時に、この問題には我々病院全体で一丸となって乗り切っていかなければならないことと考えております。

私は平成2年に千葉大学を卒業し、千葉大学第一外科に入局致しました。以後、関連施設・大病院にて大腸外科を中心として広く一般外科を学んで参りましたが、平成11年4月に当院に外科医として赴任致しました。

当初は、胃・大腸外科を中心に、その他広く肝胆道系の外科や緊急手術などいわゆる一般病院で出くわす外科疾患全般を諸先輩方の指導の下研鑽を積んで参りました。そして、当時は世間でも始まったばかりの胃がんや大腸がんに対する腹腔鏡下手術を当院で開始し、他院へ見学に行ったり、指導者を招いてそのご指導の元で手術を行うなど、その後には赴任した同僚の医師と共に手術件数を増やして参りました。

また、大病院勤務時代から消化器内視鏡の分野にも携わっており、当院でも継続して胃内視鏡や大腸内視鏡の検査や治療を多数経験させて頂いていただきました。当時では特殊検査であった超音波内視鏡や拡大内視鏡なども内科や消化器科の先生方と共に多くの症例を経験でき、手術にそして内視鏡にと非常に充実した仕事をさせて頂きました。

一方で、病院運営や経営など真剣に考えてきたかという点と恥ずかしながら全く貢献できていなかったと言わざるを得ません。今後は一般診療以外にも、病院運営という観点から努力しないといけない立場であり、ひしひしとその責任の重さを感じております。

当院及び地域医療にも貢献できるよう気を引き締めて尽力して参りたいと存じます。

今後ともご指導ご鞭撻賜れば幸いです。よろしくお願い致します。



事務部長
中島 和幸

この度、事務部長を拝命致しました。私は昨年度まで埼玉県職員として勤務して参りましたが、病院職員としての経験は十分とは言えず、課せられた職責の重さに身の引き締まる思いでおります。どうぞよろしくお願い致します。

早いもので着任から三か月が過ぎようとしておりますが、この間、最も印象深い出来事は、やはり新型コロナウイルス感染症への対応でした。

最前線で働く病院の職員は、心の中に不安を抱えながらも未知なる感染症と向き合い、適切な医療の提供に努めていました。病院としても、大規模な病棟の転換を行い、感染者の受入れ拡大という社会の要請に応えて参りました。このような取組の中に、職員一人ひとりの医療従事者としての誇りと「いかなる状況下でも人間のいのちと健康、尊厳を守る」ことを使命とする日本赤十字社の職員としての気概を見た思いが致しました。

そして、私もこの病院の一員として全力を尽くそうと気持ちを強くしたところです。

また、病院は職員だけではなく、多くの方々の支えで成り立っているということに気付く機会にもなりました。地域の医療機関の皆様との適切な役割分担と連携があつてこそ、県北部地域としての医療機能が維持されるということ。管轄の保健所や地元深谷市など行政との連絡調整が欠かせないということ。更に最も大切なのは地域の住民の皆様が愛され、信頼される病院でなくてはならないということです。

いずれも当たり前の事ばかりですが、新型コロナウイルス感染症への対応を通して、着任から程なくこの事に気付けたのは、私にとって幸運であつたと思います。この思いを忘れることなく、県北部地域の医療に少しでも貢献できるよう全力で取り組む所存でございますので、何卒ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

新 任 医 師 紹 介



(診療科) 内科
(名 前) 佐原 翠
(出身大学) 金沢大学
(趣 味) マラソン
(抱 負) 1年ぶりに深谷赤十字病院に勤務させていただくこととなりました。患者様に寄り添う医療を目指していきます。よろしくお願ひ致します。



(診療科) 内科
(名 前) 金井 杏奈
(出身大学) 岩手医科大学
(趣 味) 音楽
(抱 負) 地域の医療に貢献できるように努めて参ります。



(診療科) 形成外科(部長)
(名 前) 内田 龍志
(出身大学) 東京医科大学
(趣 味) ラーメン
(抱 負) 各科の先生方との連携を仰ぎつつ、治療の選択肢の幅が広がればと思っております。どうぞよろしくお願ひ致します。



(診療科) 外科
(名 前) 山本 祐也
(出身大学) 千葉大学
(趣 味) サッカー(観戦)
(抱 負) 自分にできることを精一杯やって少しでも貢献できるように頑張ります。よろしくお願ひ致します。



(診療科) 外科
(名 前) 島崎 怜理
(出身大学) 千葉大学
(趣 味) ラグビー
(抱 負) 一生懸命頑張りますので、よろしくお願ひ致します。



(診療科) 腎臓内科
(名 前) 武井 克仁
(出身大学) 自治医科大学
(趣 味) 旅行
(抱 負) 地域医療に貢献できるように努めます。よろしくお願ひ致します。



(診療科) 形成外科
(名 前) 池田 千枝莉
(出身大学) 東京医科大学
(趣 味) ハドミントン、漫画
(抱 負) 1年間深谷日赤で勤務させて頂くことになりました。周りの方々に恵まれ、充実した日々を過ごしております。より良き医療を提供できるよう精進して参ります。



(診療科) 整形外科
(名 前) 茂木 智彦
(出身大学) 獨協医科大学
(趣 味) 山登り スノーボード
(抱 負) 地域の皆様のお役に立てるよう頑張ります。



(診療科) 整形外科
(名 前) 井野 福央
(出身大学) 日本医科大学
(趣 味) ドライブ
(抱 負) 地域医療に貢献できるように頑張ります。よろしくお願ひ致します。



(診療科) 心臓血管外科
 (名前) 矢野 隆
 (出身大学) 愛媛大学
 (趣味) 音楽鑑賞、読書
 (抱負) 日頃より深谷日赤の皆様方にはご支援を頂き、心より感謝しております。患者様から学ばせて頂くという姿勢を常に心がけています。未熟者ですが、どうかよろしくお願い致します。



(診療科) 脳神経外科
 (名前) 富田 庸介
 (出身大学) 浜松医科大学
 (趣味) 音楽
 (抱負) 地域の治療に貢献できるように努めます。

初期臨床研修医紹介 1年次



(名前) 加藤 正樹
 (出身大学) 日本医科大学
 (趣味) 筋力トレーニング
 (抱負) 熊谷市出身のため、埼玉県北部の医療を支えるチームの一員として働けることを心より嬉しく思います。まだまだ未熟な身ですが、日々成長し、少しでも地元医療に貢献できるように努力する所存です。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



(名前) 岩井 龍太郎
 (出身大学) 群馬大学
 (趣味) スポーツ観戦(NFL、サッカー等)、ゲーム、読書、筋トレ、カラオケ
 (抱負) 臨床実習の頃からお世話になっており、浅からぬ縁のある埼玉県北部の医療に貢献できるよう、精進して参ります。ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



(名前) 有馬 健吾
 (出身大学) 帝京大学
 (趣味) 映画・ドラマ鑑賞
 (抱負) 地元である埼玉県で研修が行えることに喜びを感じるとともに、少しでも埼玉県北部の医療に貢献するべく、気の引き締まる思いです。まだまだ未熟ではございますが、日々精進して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



(名前) 藤本 耕司
 (出身大学) 大分大学
 (趣味) ランニング、野球観戦、筋力トレーニング
 (抱負) 埼玉県に住むのは人生で初めてですが、私が今後学んでいく事で少しでも埼玉県の医療に貢献できるように日々精進していく所存でございます。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



(名前) 田中 春佳
 (出身大学) 金沢大学
 (趣味) 旅行、映画
 (抱負) 研修は始まったばかりですが、日々自身の未熟さを痛感しております。熊谷市出身のため、地元である埼玉県北部の医療に貢献できるように全力を尽くすつもりなので、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



(名前) 庄子 諒一
 (出身大学) 岩手医科大学
 (趣味) 野球観戦
 (抱負) 医師としての第一歩を出身地である埼玉県で踏み出すことができ大変嬉しく思います。自身の未熟さや力不足を痛感する毎日ですが、その中で少しでも成長できるように日々努力する所存です。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



(名 前) 渡邊 春花
(出身大学) 福島県立医科大学
(趣味) どうぶつの森
(抱負) 地元埼玉県で医療に携われることを大変嬉しく思います。まだ右も左も分からない中で指導して頂いております。日々新しい学びがありますが、自分の糧となるよう邁進していく所存ですので、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



(名 前) 山本 実咲
(出身大学) 東京女子医科大学
(趣味) ジム、観劇
(抱負) 深谷市から奨学金を頂くことで、医師になりたいという幼い頃からの夢を叶えて頂きました。医師が不足している科の医師となり、県北の医療を支える一員になれるよう努力して参る所存ですので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

第121回 日赤東部ブロック病(産)院 院長・事務部長会議報告

日本赤十字社では、全国の91病院を7つのブロックに分け、全国会議の他にブロック単位で会議・研修会を実施し、情報共有を随時行うなど連携を図っております。

深谷赤十字病院が属する東部ブロックでは、当院が当番となり、令和2年2月27日に「第121回日赤東部ブロック病(産)院 院長・事務部長会議」を埼玉グランドホテル深谷で開催いたしました。

この時期は、横浜港に寄港した大型クルーズ船で感染者が集団発生するなど、国内で新型コロナウイルスの感染が広がり始め、日赤東部ブロックの赤十字病院では、感染者の受診対応を求められていたことなどから、本会議においても各施設の対応状況の報告や、情報交換を行いました。

また、日頃、当院の運営にご協力いただいている深谷市の小島市長にもご出席いただき、最前線で新型コロナウイルス感染者の対応をしている医療関係者に対して感謝の言葉をいただきました。



会議の様子



深谷市長のご挨拶

<地域の皆様へのご案内>

当院を受診の際は、紹介状をご持参ください。

当院受診の際（初診時）は、他の医療機関からの紹介状（診療情報提供書）をご持参いただくことをお勧めします。

紹介状（診療情報提供書）をご持参いただいた場合は、国が定める初診時選定療養費（医科5,500円・歯科3,300円）のご負担がなくなります。

連携医療機関のご紹介

秩父生協病院

住 所 〒368-0016 秩父市阿保町1-11
電 話 0494-23-1300
院 長 山田昌樹
診 療 科 内科、小児科、リハビリテーション科
休 診 日 土曜午後、日曜、祝日、12/30～1/3
診 療 時 間 (午前) 8時30分～12時
(午後) 5時～6時30分



院長先生からのメッセージ

当院は、回復期リハビリ病棟と医療療養病棟があり、急性期医療と地域を結ぶ活動を行っています。デイケア、訪問看護・介護ステーションと事業を継承した小規模多機能施設を併設。日本HPHネットワークに加盟し、地域と協同してヘルスプロモーション活動を行っています。

佐藤歯科医院

住 所 〒360-0857 熊谷市西別府1838-6
電 話 048-533-6110
院 長 佐藤晴一
診 療 科 歯科
休 診 日 木曜、日曜、祝日
診 療 時 間 (午前) 9時～12時
(午後) 2時～6時



院長先生からのメッセージ

昭和58年に当地に開業し、今日に至るまで地域歯科医療に貢献してまいりました。現在は、2人の歯科衛生士の指導のもと、予防歯科に重点を置き診療しております。

地域医療連携だより



深谷赤十字病院は地域との 医療連携に努めています。

初期診療や慢性の継続診療などは、「かかりつけ医」の先生に診ていただき、専門的な検査や診察、また入院が必要な治療は病院が受け入れるという役割分担を行うことで、地域の皆様が継続して適切な医療が受けられるような体制を維持しています。

連携医療機関のご紹介

今井医院

住所 〒366-0025 深谷市寿町52
電話 048-572-7728
HP <http://www.imai-iin-fukaya.com/>
院長 今井えりか
診療科 内科
休診日 木曜午後、土曜午後、日曜、祝日
診療時間 (午前) 8時30分～12時
(午後) 3時～6時



院長先生からのメッセージ

当院は「気軽に相談できる町のお医者さん」をコンセプトに、内科全般、予防接種やお子さんのちょっとしたお風邪を診させていただき、必要に応じて速やかに専門機関へご紹介させていただきます。院長は女医ですので、お気軽にご相談ください。

赤井胃腸科

住所 〒361-0044 行田市門井町2-10-32
電話 048-553-2233
院長 赤井寿紀
診療科 内科、胃腸科、外科、糖尿病内科
休診日 木曜午後、土曜午後、日曜、祝日
診療時間 (午前) 8時40分～12時
(午後) 4時～6時



院長先生からのメッセージ

地域の皆様に頼られる『健康創造パートナー』としてお役に立ちたいと考えております。皆様の健康に少しでも貢献できることが、医師の冥利と考えております。当院では糖尿病専門医による外来を行っております。脾胃に負担をかけず長く機能が保てるよう心がけております。また経鼻内視鏡、大腸内視鏡を内視鏡専門医および内視鏡指導医が行っております。

INFORMATION

新型コロナウイルスの感染防止のため、当院では次のとおり対応していますので、ご理解とご協力をお願いいたします。（令和2年7月29日現在）



健康観察の様子

健康観察の実施

正面入り口において、**診察や面会のために来院する全ての方に**症状の確認、検温、手指消毒、マスク着用の徹底のご協力をいただいております。

面会の禁止

ご不便をお掛けいたしますが、**入院患者さんの感染防止を図るため**、ご理解とご協力をお願いいたします。

ただし、右の「面会許可証」を所持する下記の方のみ入館を許可させていただきます。

〔例〕緊急時の呼び出し、入退院の当日、病状説明、療養指導、手術の立ち会い



※物品の受け渡しは、各病棟入り口でスタッフがお取次ぎいたします。

栄養課からの行事食おすすめレシピ

— 酢豚 —

今年もまた暑い夏がやってきました。夏の猛暑は何かと体力を奪われがち。毎日の食事をしっかり食べ、この夏を乗り切りましょう！

注目したい栄養素は“ビタミンB1”。

夏バテや疲労回復に効果があると言われており、豚肉に多く含まれています。

そこで、今回は豚肉を使った当院人気メニューの「酢豚」を紹介します！



材 料 (4 人 分)

豚肉角切り……………200g	甘酢あん
根しょうが……………1かけ	砂糖……………大さじ3強
醤油……………大さじ1	酢……………大さじ2.5
片栗粉……………適量	醤油……………大さじ2.5
揚げ油……………適量	トマトケチャップ
竹の子 ゆで……………120g	……………大さじ2弱
にんじん……………中1本	ウスターソース
玉ねぎ……………中1/2玉	……………小さじ1弱
ピーマン……………2~3個	水……………1カップ
生しいたけ……………5枚	片栗粉……………大さじ1.5
炒め油……………大さじ1	

作 り 方

- ①たけのこ、にんじん、ピーマンは乱切り、玉ねぎ、生しいたけは一口大に切る。
- ②豚肉は、すりおろしたしょうがと醤油に漬けておき、汁気を切ってから、片栗粉をまぶして、油で揚げる。
- ③ピーマン以外の野菜を油で炒め、火が通ったらピーマンを入れ、軽く炒めて②と混ぜる。
- ④混ぜ合わせておいた甘酢あんを③に入れ、混ぜてとろみが付くまで加熱する。



深谷赤十字病院

日本赤十字社

〒366-0052 深谷市上柴町西5丁目8番地1
Tel 048-571-1511 (代)
<http://www.fukaya.jrc.or.jp/>

Vol.64 令和2年7月29日発行
編集発行: 深谷赤十字病院
広報・公聴委員会